

令和元年度 第1回大豆島公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和元年6月3日(月) 午後1時30分から3時まで
- 2 場 所 大豆島公民館 学習室2
- 3 出席者 北村 清人 (前大豆島地区住民自治協議会会長)
倉島 富士子 (大豆島地区更生保護女性会会長)
小池 伸幸 (大豆島保育園園長)
玉井 久志 (大豆島公民館副館長)
轟 保則 (大豆島地区民生委員児童委員協議会会長)
中澤 和男 (大豆島地区住民自治協議会会長)
西沢 節 (学識経験者)
山崎 ひろ子 (大豆島地区赤十字奉仕団委員長)
高池 一昭 (市立大豆島公民館館長)
白石 洋一 (市立大豆島公民館係長)
(久保田委員は欠席)

4 審議事項

- (1) 令和元年度大豆島公民館事業計画について
(2) その他

5 審議内容

長野市立公民館条例第15条の規定により、委員の過半数の出席を満たしており審議会は成立していることを報告して開会した。

- (1) 令和元年度大豆島公民館事業計画について

事務局 (令和元年度大豆島公民館事業計画について事務局から説明)

- (2) その他

事務局 (大豆島公民館の今後のあり方検討委員会の検討結果及び長野市交流センターについて事務局から報告。)

委員 地域公民館では冷暖房使用料を利用者から徴収しているところがあるが、大豆島公民館では徴収しているか。

事務局 社会教育目的外の使用については、冷暖房使用料は有料となるため徴収している。

委員 指定管理者制度を導入しないことに決定した理由にはどんなものがあるのか。

事務局 公民館職員の人材の確保が困難であることや、指定管理になることで職員の事務負担が増えることが挙げられた。指定管理になると職員の給与計算や社会保険料の計算など直営には無かった事務が増える。係長の後任にあたる公民館

主事の人材を探すのは困難だという意見があった。

委員 公民館主事は係長に比べて給与が安くなる。大豆島公民館は利用者も多く、地区との連携もできており運営は順調である。あえて指定管理を受ける必要はないという意見もあった。

委員 地元から公民館職員を雇用するのは理想的ではあるが、実際には直営に戻したいという地区もあるようだ。住自協の職員も手いっぱいなので事務の増加は困る。公民館会計は複式簿記を使うので、その知識がある人材の確保が必要になる。

委員 交流センター化の検討については、市のモデル試行に動きがあったら必要に応じて検討委員会を設置するという事務局の提案である。

委員 交流センターは地域の拠点となる中心施設である。福祉事業、コミュニティーケアの需要が増えることが見込まれるのでは。

地域公民館でも夏に学習の場として開放してはどうかという意見が出ている。誰が学習に付き添うかという問題はあるが。

地域対抗の運動会や球技大会もマンネリ化することなく毎年内容を変化させることで活性化になる。

委員 時期がきたら、公民館に関係する皆さんも交えて、交流センター化の本格的な検討が必要になる。